



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本瓦斯株式会社

コード番号 8174 URL <http://www.nichigas.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和田 眞治

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 中山 雄樹

TEL 03-3553-1281

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	75,272	4.1	2,489	12.9	2,161	13.9	753	△1.3
23年3月期第3四半期	72,295	2.1	2,205	△39.5	1,897	△41.9	763	△35.7

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 583百万円 (△19.9%) 23年3月期第3四半期 727百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	16.89	—
23年3月期第3四半期	19.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	116,417	45,218	28.9
23年3月期	111,390	34,947	20.9

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 33,679百万円 23年3月期 23,323百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.50	—	6.50	13.00
24年3月期	—	6.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.50	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,000	6.6	7,200	10.8	6,900	13.3	2,800	20.5	64.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	48,561,525 株	23年3月期	44,961,525 株
24年3月期3Q	175,847 株	23年3月期	5,575,787 株
24年3月期3Q	44,605,711 株	23年3月期3Q	39,386,083 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12
(2) 需要家戸数等の推移	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

エネルギー業界におきましては、原発事故を契機として、我が国のエネルギー計画について、原発依存からの脱却のための抜本的な見直しが必要との議論が広がり、コストの高い再生エネルギーの推進が叫ばれる一方、今後の基幹エネルギーとして、ガス体エネルギーの重要性が一層注目されております。

また、大規模集中型エネルギーシステムから分散型エネルギーシステムへの転換が重要課題となるなど、エネルギーシステムの在り方は、大きな分岐点を迎えております。

このような環境の下、当社グループは、引き続き直売分野での競争コスト創出を目途とする、抜本的な経営の効率化に取り組み、保安の確保と安定供給を前提とした顧客サービスの向上と顧客基盤の拡充に総力を挙げてまいりました。

また、当第3四半期連結会計期間において、当社グループは、国際的な金融機関 J P モルガンの投資部門である O E P との資本業務提携契約に基づき、O E P を割当先とする第三者割当による新株式の発行並びに自己株式の処分を実施し、103億5千万円の資金を調達いたしました。調達資金は、国内外のエネルギー関連企業への投資資金に充当し、国内における収益基盤の拡大と海外での事業展開を進めております。海外での事業展開につきましては、既に経営参加しているオーストラリアの電力・都市ガス小売企業とアメリカの電力小売企業への追加投資とアジア・オセアニア地域において当社グループの持つ分散型エネルギーシステムのノウハウを活用することが可能なエネルギー関連企業に積極的な投資を行い、将来の収益基盤の確保をはかってまいります。

当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、震災の影響で業務用のガス販売量が減少したこと等により、ガスの総販売量は前年同期に比べ減少いたしました。当第3四半期連結累計期間末の当社グループのお客様数が前連結会計年度末に比べ38千戸増の975千戸となり、民生用のガス販売量が堅調に推移したことに加え、機器、受注工事他の売上が増加したこと等により、752億7千2百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

一方、利益面につきましては、原料価格は前年同期に比べ高く推移いたしました。前連結会計年度から運用を開始した新物流システムによる物流コストの削減に加え、業務全般に及ぶ抜本的改革によりコスト全体の削減に努めました結果、営業利益は24億8千9百万円（前年同期比12.9%増）、経常利益は21億6千1百万円（同13.9%増）となりました。改正法人税法の公布に伴う繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率の見直しにより法人税等調整額が増加し、第3四半期純利益は7億5千3百万円（同1.3%減）となりました。

なお、当社グループの売上高及び利益面におきましては、性質上季節的変動が著しいガス事業の占めるウェイトが高いために、下期に偏る傾向にあります。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の概況は次のとおりであります。

[LPガス事業]

LPガス事業におきましては、業務用ガスの大幅な需要減により、総販売量は前年同期に比べ減少いたしました。民生用ガスの販売量がお客様の増加に伴い堅調に推移したことに加え、機器、受注工事他の売上が増加いたしましたため、当第3四半期連結累計期間の売上高は391億7千5百万円と前年同期に比べ11億5千3百万円（前年同期比3.0%増）の増収となりました。

[都市ガス事業]

当社の都市ガス子会社4社で構成される当事業におきましては、ガス販売量が、LPガス事業と同様の要因で前年同期に比べ減少いたしました。天然ガスの販売価格が原料費調整制度により前年同期に比べ高く推移したこと等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は360億9千7百万円と前年同期に比べ18億2千4百万円（前年同期比5.3%増）の増収となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ50億2千6百万円増加し、1,164億1千7百万円となりました。これは主に、新株式の発行並びに自己株式の処分により払込を受け、現金及び預金が増加したこと等によるものです。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ52億4千3百万円減少し、711億9千9百万円となりました。これは主に、返済が進んだことにより借入金が増加したこと等によるものです。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ102億7千万円増加し、452億1千8百万円となりました。これは主に、新株式の発行並びに自己株式の処分により103億5千万円の払込を受けたこと等によるものです。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ8.0ポイント向上し、28.9%となりました。

④連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ、36億1千8百万円増加し、125億5千9百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益21億6千4百万円、減価償却費66億2千8百万円等の収入要因が、法人税等の支払額24億4千3百万円等の支出要因に相殺され66億2千9百万円（前年同期に比べ2億9百万円収入が増加）の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出51億5千4百万円、投資有価証券の取得による支出32億6千7百万円等により88億2千2百万円（前年同期に比べ17億4千6百万円支出が増加）の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、株式の発行による収入41億2千1百万円、自己株式の売却による収入62億9百万円等の収入要因が、借入金の純減少額37億1千9百万円等の支出要因に相殺され58億2千万円（前年同期は28億9千3百万円の支出）の収入となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年度については、当社グループは引続き、顧客基盤の拡充によるガス販売高の伸張及びガス機器の普及・拡大に注力し、売上高は平成22年度に対し6.6%増の1,110億円になる見通しです。

利益面につきましては、顧客基盤の拡充に伴う経費等が増加しますが、お客様数の増加等により、営業利益は10.8%増の72億円、経常利益は13.3%増の69億円、当期純利益は20.5%増の28億円となる見通しです。なお、第三者割当増資により1株当たり予想は変更しておりますが、その他の業績予想数値は平成23年4月28日公表時から変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,955	12,969
受取手形及び売掛金	10,340	8,010
商品及び製品	4,841	4,787
仕掛品	25	14
原材料及び貯蔵品	81	88
繰延税金資産	802	599
その他	479	3,266
貸倒引当金	△175	△248
流動資産合計	25,350	29,488
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,861	7,752
機械装置及び運搬具(純額)	39,803	37,865
工具、器具及び備品(純額)	440	407
土地	20,061	20,299
リース資産(純額)	618	938
建設仮勘定	665	1,079
有形固定資産合計	69,450	68,343
無形固定資産		
のれん	6,706	6,169
その他	634	666
無形固定資産合計	7,341	6,835
投資その他の資産		
投資有価証券	3,413	6,277
その他	5,928	5,913
貸倒引当金	△785	△782
投資その他の資産合計	8,556	11,409
固定資産合計	85,347	86,588
繰延資産	692	341
資産合計	111,390	116,417

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,694	12,920
短期借入金	12,224	11,545
未払法人税等	1,949	291
賞与引当金	384	146
その他	3,575	3,480
流動負債合計	30,828	28,385
固定負債		
長期借入金	40,661	37,621
退職給付引当金	2,065	2,066
役員退職慰労引当金	1,040	960
ガスホルダー修繕引当金	264	235
その他	1,582	1,930
固定負債合計	45,614	42,814
負債合計	76,443	71,199
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	7,070
資本剰余金	4,386	6,455
利益剰余金	21,366	20,354
自己株式	△7,527	△59
株主資本合計	23,225	33,820
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	97	△140
その他の包括利益累計額合計	97	△140
少数株主持分	11,624	11,538
純資産合計	34,947	45,218
負債純資産合計	111,390	116,417

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	72,295	75,272
売上原価	41,609	44,630
売上総利益	30,685	30,642
販売費及び一般管理費	28,480	28,153
営業利益	2,205	2,489
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	66	75
不動産賃貸料	32	31
持分法による投資利益	22	29
保険配当金	28	2
その他	147	118
営業外収益合計	301	260
営業外費用		
支払利息	607	560
その他	1	27
営業外費用合計	609	588
経常利益	1,897	2,161
特別利益		
固定資産売却益	14	20
投資有価証券売却益	0	34
負ののれん発生效	—	37
特別利益合計	15	92
特別損失		
固定資産売却損	6	—
固定資産除却損	30	57
投資有価証券評価損	—	31
その他	2	0
特別損失合計	39	89
税金等調整前四半期純利益	1,874	2,164
法人税、住民税及び事業税	716	793
法人税等調整額	279	542
法人税等合計	995	1,335
少数株主損益調整前四半期純利益	878	828
少数株主利益	115	75
四半期純利益	763	753

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	878	828
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△150	△245
その他の包括利益合計	△150	△245
四半期包括利益	727	583
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	618	514
少数株主に係る四半期包括利益	109	68

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,874	2,164
減価償却費	6,439	6,628
繰延資産償却額	687	351
のれん償却額	629	585
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10	70
退職給付引当金の増減額(△は減少)	62	1
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△52	△79
受取利息及び受取配当金	△70	△78
支払利息	607	560
為替差損益(△は益)	—	7
持分法による投資損益(△は益)	△22	△29
投資有価証券評価損益(△は益)	—	31
有形固定資産除却損	30	57
売上債権の増減額(△は増加)	1,966	2,329
たな卸資産の増減額(△は増加)	△182	56
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,457	226
未払消費税等の増減額(△は減少)	△137	△114
前受金の増減額(△は減少)	△44	△107
確定拠出年金移行時未払金の増減額(△は減少)	△232	△222
その他	△1,393	△2,887
小計	8,715	9,552
利息及び配当金の受取額	70	80
利息の支払額	△608	△559
法人税等の支払額	△1,758	△2,443
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,419	6,629
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12	△407
定期預金の払戻による収入	11	12
有形固定資産の取得による支出	△7,132	△5,154
有形固定資産の売却による収入	226	133
のれんの取得による支出	△64	△46
投資有価証券の取得による支出	△9	△3,267
貸付けによる支出	△9	△14
貸付金の回収による収入	37	52
その他	△123	△129
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,076	△8,822

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	10,951	2,470
短期借入金の返済による支出	△9,600	△2,570
長期借入れによる収入	7,848	5,540
長期借入金の返済による支出	△11,376	△9,159
株式の発行による収入	—	4,121
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	6,209
配当金の支払額	△508	△508
少数株主への配当金の支払額	△115	△111
その他	△91	△170
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,893	5,820
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△7
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,549	3,618
現金及び現金同等物の期首残高	10,614	8,941
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,064	12,559

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

当社は平成23年10月18日を払込期日とする第三者割当による新株式の発行及び自己株式の処分を実施いたしました。この結果、当第3四半期連結会計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ2,070百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が7,070百万円、資本準備金が6,455百万円となっております。

また、自己株式の処分により6,210百万円が払込まれております。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社グループは販売を主として行っており、報告セグメントごとに生産規模及び受注実績を金額あるいは数量で示すことは行っておりません。当社グループの売上高及び利益面におきましては、性質上季節的変動が著しいガス事業の占めるウェイトが高いために、下期に偏る傾向にあります。

1) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を報告セグメント別に示すと、次のとおりであります。

報告セグメント別販売実績

報告セグメント	当第3四半期連結累計期間 (23. 4. 1～23. 12. 31)	前第3四半期連結累計期間 (22. 4. 1～22. 12. 31)
L Pガス事業(百万円)	39, 175	38, 022
都市ガス事業(百万円)	36, 097	34, 272
合計(百万円)	75, 272	72, 295

2) L Pガス事業の販売実績

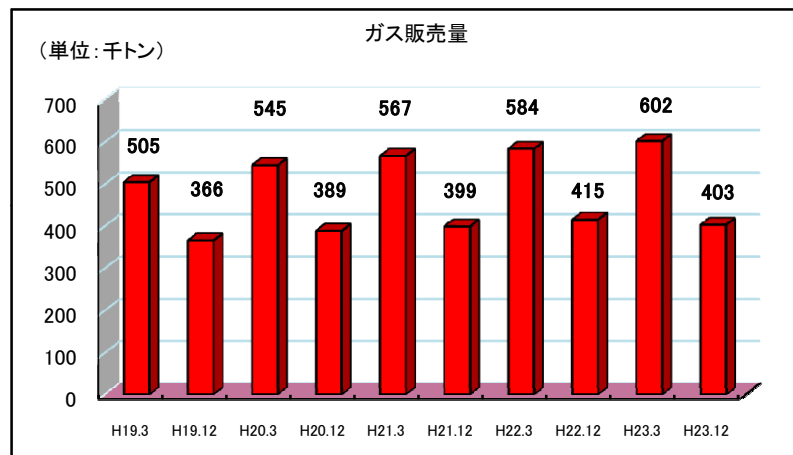
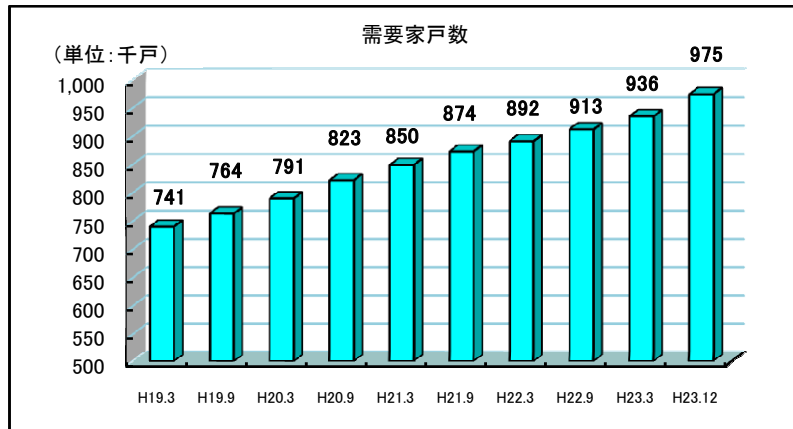
区分	当第3四半期連結累計期間 (23. 4. 1～23. 12. 31)	前第3四半期連結累計期間 (22. 4. 1～22. 12. 31)
ガス(百万円)	28, 725	28, 404
機器、受注工事他(百万円)	10, 450	9, 618
合計(百万円)	39, 175	38, 022

3) 都市ガス事業の販売実績

区分	当第3四半期連結累計期間 (23. 4. 1～23. 12. 31)	前第3四半期連結累計期間 (22. 4. 1～22. 12. 31)
ガス(百万円)	29, 216	27, 750
機器、受注工事他(百万円)	6, 880	6, 522
合計(百万円)	36, 097	34, 272

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. セグメント間の取引高は相殺消去しております。



(注) ガス販売量には、都市ガス事業における都市ガス(LNG)販売量をLPG販売量(千トン)にカロリー換算して含めております。